

東京災害ボランティアネットワーク

平成 30 年 7 月豪雨への取り組み

東京災害ボランティアネットワーク
事務局 福田信章

今回の平成 30 年 7 月豪雨水害は、15 の府県で被害が出て、50 を超える災害 VC が同時に立ち上がるような、東日本大震災に次ぐ、大きな被害が出てしまった災害になっています。ここまで同時多発的に、しかも広範囲にわたってしまうと、支援の手が足りなくなることは明白です。一方、被害のない東京を中心とした東日本では、十分にそのような認識がなされていない傾向もあります。どこまでマスメディアがこの災害を取り上げ続けるかわかりませんが、やもすると夏が終わるころには忘れ去られてしまう災害になってしまうかもしれません。東京災害ボランティアネットワークでは、今回の水害に対して認識を共有するため、7 月 12 日に緊急役員会を実施し、あらためて認識を共有するとともに、支援の手を多くの方をお願いしていきたくと思っています。

今回の豪雨水害で、東災ボは主に三つの支援活動を実施していきます。(1)都内における多様な団体との連携による平成 30 年 7 月豪雨被災者支援都内一斉街頭募金活動、(2)全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)の東京事務局支援、(3)東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議の幹事団体としての被災地支援活動、以上の三つの支援活動です。これらの取り組みを実施していくためには東災ボ各団体の力が必要だと思っているので、いろいろな団体・個人に声をかけていきたいと思っています。

(1)平成 30 年 7 月豪雨被災者支援都内一斉街頭募金

2016 年の熊本地震時にも実施しましたが、都内の社協や生協、連合を中心とした形での都内一斉街頭募金活動を 7 月～9 月にかけて実施していきます。「街頭募金の手引き」を使用させていただいて各団体で街頭募金を実施していただけるようにします。

(2)全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD) 事務局への協力

先週の東災ボの役員会でも議題に出ていましたが、JVOAD から正式に依頼書が届きました。これについては役員団体の皆さまにご意見をいただきたいと思っています。依頼の概要は、東京の JVOAD 事務局を東災ボ(福田)が出来る範囲で協力していただきたい、という内容になっています。

(3)東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議の幹事団体としての被災地支援活動

こちら先週の東災ボ役員会で、TVAC 長谷部副所長から提案があったものです。東京都、TVAC、アクションプラン推進会議の三者連携による被災者支援を提案です。まずは、7 月 18-20 日に東京都、TVAC、アクションプラン推進会議幹事団体(今回は JANIC、東京都生協連、東災ボ)で現地調査をおこないました。

その後の取り組みは、まだ確定ではありませんが、都、TVAC、アクションプラン推進会議の三者で協議した上で、支援活動の検討に入ります。東災ボは、幹事団体として、この取り組みに参画していきます。